

【申請書作成に際しての注意事項】

2024年4月1日作成

(本注意事項は毎年更新されます)

1. 更新時に研修施設に所属していない場合は指導医ならびに専門医更新申請書の様式6.の欄外に現在研修施設に在籍していない理由を記載してください。
2. 申請するインプラント埋入手術症例、骨造成手術症例、インプラント除去症例は1口腔1症例です。ただし、インプラント埋入手術症例でも日を異にした骨造成手術症例は別の1症例として提出しても構いません。
3. インプラント埋入手術症例は、上部構造を装着して(補綴治療が終了して)2年以上経過観察を行った症例を提出してください。(一部のインプラント治療が2年以上経過しているても他の部位のインプラント治療が2年以上経過していない症例はインプラント埋入手術症例として認められません)。
4. インプラント埋入症例において術前パノラマエックス線写真は、原則インプラント埋入部位に歯が残存しているパノラマエックス線写真は認められません。欠損後の術前パノラマエックス線写真がない場合はCTやデンタルエックス線写真などで欠損の状態や診断の根拠が確認できる画像を添付し、所見を記載してください。
5. 骨造成手術症例は、骨造成手術を行い1年以上経過したエックス線写真の所見を記載してください。骨造成が確認できるエックス線写真あるいは病態写真が必要です。
6. インプラント除去手術症例は、術前と術後のエックス線写真が必要です。(1年以上経過観察していなくても可とする)
7. 症例は経過良好なものだけでなく可であるが、経過良好でない理由などを記載してください。
8. 骨補填材やメンブレンなどの未承認材料(適応外使用を含む)を使用した場合は所属医療機関の倫理委員会の承認番号の記載あるいは当該患者の同意書を添付してください。
9. 申請書ならびに診療実績報告書などの提出書類は、A4判のポケットファイルに入れて提出してください。特に診療実績報告書と術前と2年以上経過パノラマエックス線写真は症例毎にわかりやすくファイルしてください。(下記見本参照)

対象期間は 2025 年用にアップデートしています

【2025 年度更新の更新申請書作成時の注意事項】

(専門医, 指導医, 研修施設, 准研修施設)

1. 診療実績, 業績 (学会, 教育研修会参加も含む) の更新対象期間は, 2020 年 4 月 1 日 ~ 2025 年 3 月 31 日 の 5 年間ですが, 申請書の提出締め切りは, 2024 年 8 月 31 日 です. 申請書提出時に所定の診療実績, 業績, 取得単位に達していない場合は, 2025 年 3 月 31 日までに不足分を提出する旨の一文を付けてください.
2. 診療実績報告書のインプラント埋入手術症例は, 2018 年 4 月 1 日から 2023 年 3 月 31 日 までに上部構造装着を終了し, 2 年以上経過観察を行った症例です.
3. 骨造成手術症例は, 2019 年 4 月 1 日から 2024 年 3 月 31 日 までに手術を終了し, 1 年以上経過観察を行った症例です.
4. インプラント除去手術症例は, 2020 年 4 月 1 日から 2025 年 3 月 31 日 までに手術の終了を確認した症例です.
5. 専門医と指導医 (60 歳未満) 更新時の学会発表について 2022 年 2 月 10 日の理事会において以下のように決定しました. 「更新日までの 5 年間に本学会学術大会で 1 回以上発表 (共同発表を含む) を行う」ことが必須になりました. [専門医制度施行細則第 34 条 2) 参照] つきましては, 猶予期間として今回の更新では今後 2026 年 3 月 31 日までの本学会学術大会での発表を認めることになりましたので, 不足の場合は申請書提出時にその旨を記載した一文を付けてください.

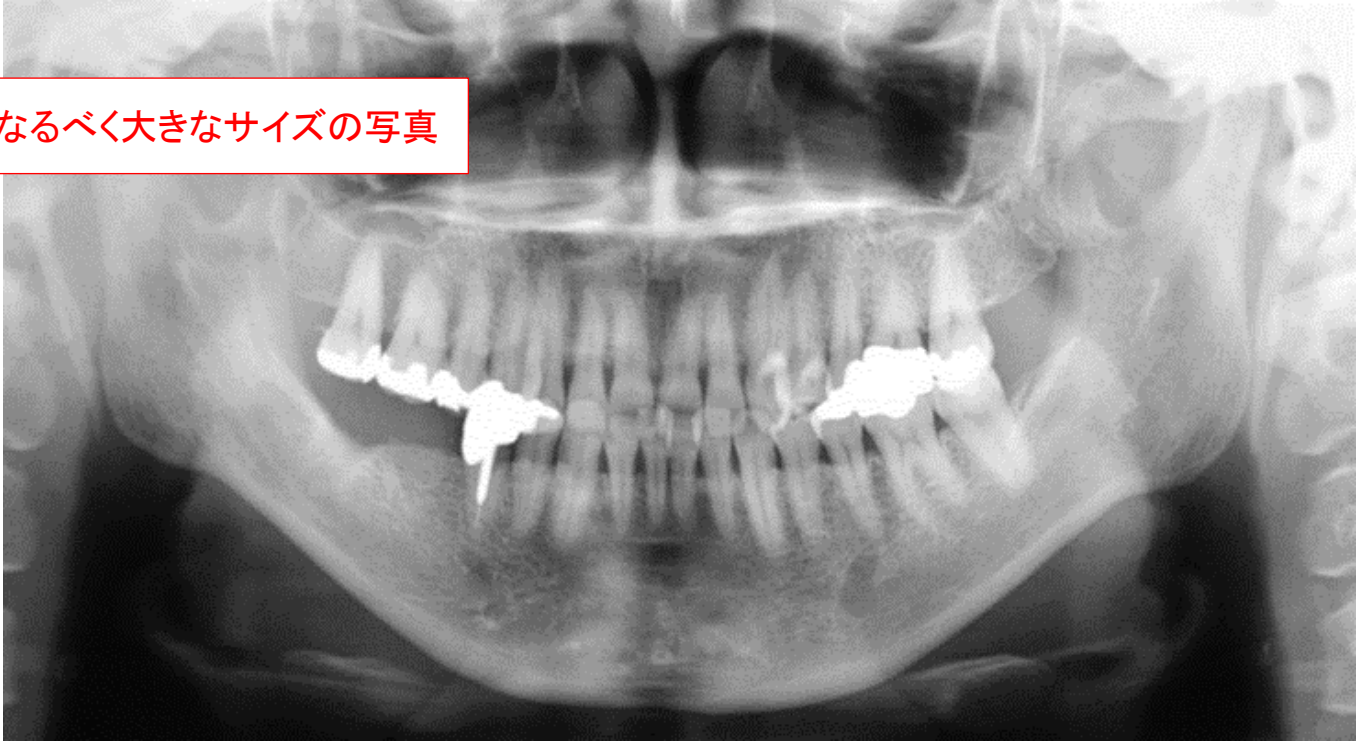
インプラント埋入手術症例

症例番号:

術前パノラマエックス線写真

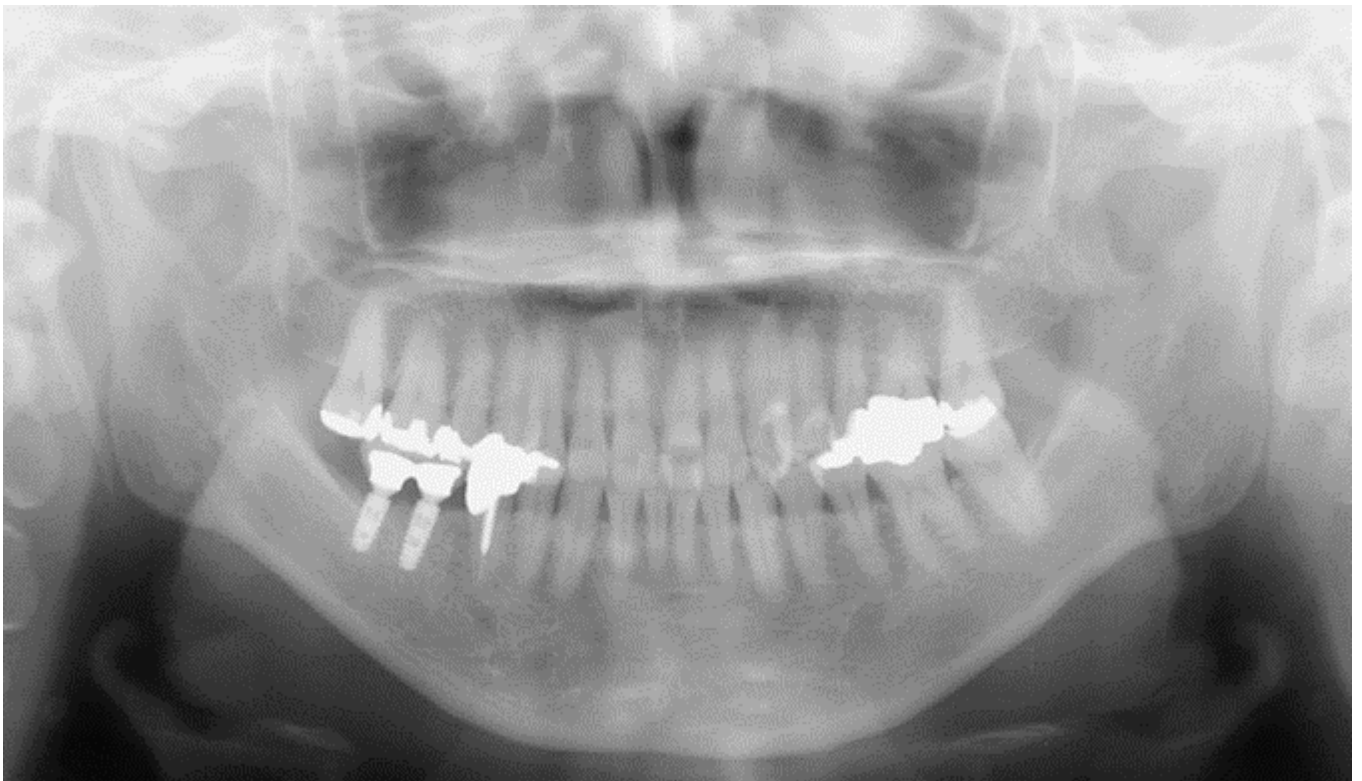
撮影日 20XX年 X月 X日

なるべく大きなサイズの写真



上部構造装着2年以上経過後パノラマ写真

撮影日 20XX年 X月 X日



※ 必要に応じて口腔内写真(術中、術後)、口内法エックス線写真、CT エックス線写真などを追加してもかまいません。(1枚に収めなくても結構です)